

市立学校における安全かつ個別最適な学びを実現する教育環境の構築に向けて【八王子市版GIGAスクール構想】の取組状況等

項目	取組内容	取組状況(令和3年度以降の取組に【新】、令和2年度までの取組に【継】と標記)	今後の取組と方向性
教員による実践的な活用	活用方法等についての研修等 【令和3～5年度を「開始・活用期」として位置付け、実践・共有・検証・改善のサイクルを回し、端末活用の日常化を図る】	【新】市研究指定校(8校)の研究内容にICT活用を位置付けて発表(10月から2月に研究発表会の実施) 【新】都情報教育研究校(横川小学校)の実践研究支援 【新】全学校が校内研究にICT活用を位置付けて実施(指導主事の派遣、ICT支援員による研修会の開催等) 【新】情報教育主任研修を新設し(年間3回実施)、最新の情報提供や各校の実践事例を交流 【継】情報教育推進委員会を月1回開催し、ICT活用推進に向けた課題の整理や事例等の発信	○学校間、教員間でのICT活用能力や意欲の差が拡大していること、情報技術や最新情報の更新速度に対応することが課題。「ICT活用の手引」や「ICT活用実践事例集」の改訂等を令和3年度内に行う。 ○ICT活用指導力向上研修(基礎、応用、リーダー養成)を11月から2月にかけて実施。 ○教員へのChromebookの配備は令和3年度中に完了予定。
	教員用のChromebook配備	【新】児童・生徒と同じような環境で操作に関する指導等を行えるよう全教員にChromebookを配備(11月から配備開始)	
ソフトウェア更新・通信環境強化	校内ネットワークの設定変更及び通信速度の調査	【新】8月に通信環境の設定変更を行い、9月に全校を対象にネットワークの通信状況を調査	○9月の調査でネットワークの通信速度が十分でないことが判明したため、接続方式の変更を検討中。 ○通信環境の整備を通じて大学等との連携強化の実現に向け調査中。 ○デジタル教科書(児童・生徒用)やミライシードの活用状況について評価し、令和4年度の導入に向けて検討中。
	ソフトウェアの整備	【新】Google Workspace for Education(Google基本サービス)、ミライシード(令和3年度試験運用)を全校で導入 【新】デジタル教科書実証事業(国)により、児童・生徒用のデジタル教科書について【英語】を53校【算数】を1校導入 【継】各学校の申請により、安全なアプリケーションを随時導入 【新】学習用端末からICT活用の情報を閲覧可「情報ポータルサイト」、チャットボット(自動応答システム)開設(7月)	
感染症対策における学習用端末の活用	健康管理や行事等への活用	【継】オンラインの集計ツールを活用した健康観察等の実施 【継】運動会や合唱コンクールの保護者入場制限等の代替として、オンラインにより行事等を配信し視聴できるよう活用	○感染状況により、今後も学習用端末の有効活用を行っていく。
	やむを得ず登校できない児童・生徒への対応	【新】やむを得ず登校できない児童・生徒に対し、オンラインによる授業の配信や教育相談の実施(9月から)	
その他八王子市版GIGAスクール構想に関連する取組	Google for Educationパートナー自治体プログラムへの参画	【新】7月にプログラムに参画し、9月にはパートナー自治体サミットに参加	○Google for Educationパートナー自治体プログラムの参画により、教員研修やインターネットリテラシー教育の充実等について、協議を継続。 ○個別のパスワードを管理することを徹底。教員が把握できないサービスの利用制限と情報モラル教育の充実により、適切な利用を実現させる。
	学習用端末の適切な利用等に向けての取組	【新】フィルタリングサービスを活用した児童・生徒の自殺予防の取組(「i-FILTER子ども見守りシステム」の導入・7月) 【継】パスワードの適切な扱いなど、児童・生徒の学習用端末の利用について学校が管理できる仕組みの整備と啓発活動	